

週報 太田中央ロータリークラブ

2017年7月14日(金) 通算第1186回 例会



ロータリー:
変化をもたらす

会長挨拶

森田 健夫

みなさん こんにちは。

梅雨とは名ばかりで猛暑が続いております。夏の空はなにか開放的でいい雰囲気がありますね。虫取り網を持ってせみを追いかけて、青い空を見上げていた少年時代を思い出すからでしょうか・・・

しかしながら、この美しい空から、ミサイルが飛んでくるかもしれない時代になってしまいました。空がつかまっているというのはどうすることもできないということです。でも、日本には航空自衛隊があります。私たちの生命と財産を守るために、最前線で戦闘機に乗り、活動するパイロットがいることを忘れてはなりません。

先日、7月初めに静岡県航空自衛隊浜松基地に行ってきました。その中にエアパークという施設があって、展示コーナー、シュミレーションコーナー、全天周シアター等、航空自衛隊に関するいろいろな物の紹介がありました。

全天周シアターでは 迫力の大スクリーンで映像を観ましたが航空機の映像ではなく、人間味あふれるドラマでした。少々がっかりもしましたが、訓練生が上官を目標に、苦しみながらも追いつき追い越していく姿を描いたものでした。いくらコンピュータ制御の航空機でも、最後は人間であるパイロットがコントロールしなければならないことを伝えたかったのだと思います。日々訓練して、次世代のパイロットを育て、日本の空を守り続けていることを知ることができました。

そして、本日、太田中央ロータリークラブの次世代を担う委員長の基本方針の発表があります。委員長にはロータリー色にどんどん染まっていただき、私達クラブの中心メンバーになって活動してもらいたいと思います。

それでは、各委員長の発表に期待しつつ、以上で本日の会長挨拶といたします。



◇例会場 ダニエルハウス 太田市飯田町895 Tel 0276-47-1222
◇例会日 金曜日 12:00～
◇事務局 〒373-0853 太田市浜町3-6 太田商工会議所会館4階12号室
TEL 0276-48-8231 FAX 0276-48-8232
Eメール ota-chuo@rid2840.jp

会長 森田 健夫
幹事 大谷 克己
クラブ広報委員会
委員長 川田 政雄
副委員長 若狭 大介

本日の行事

○米山功労者「感謝状授与」



第7回 滝本俊雄



第6回 尾関正俊



第4回 深川博淳



第3回 荒牧功二

○ロータリー財団「ポール・ハリス・フェロー」バッジ授与



MPHF 2 深川博淳



MPHF 2 松本 徹

幹事報告

大谷 克己 (おおや かつみ)

- ① 例会終了後、理事会を開催します。
- ② 会報：太田RC、新潟中央RC

委員会・部会報告

- 「ロータリー財団、ポリオ・プラス、米山記念奨学」寄付者の報告
ロータリー財団 委員会 委員長 原島俊夫

ニコニコ基金

○森田会長「各委員長さん、1年間よろしくお祈いします。」

○川田政雄「1年間宜しくお祈いします。」

出席報告

- ・会員総数55名 ・本日の出席45名（事前メーク20名）
- ・本日の出席率 81.82%

クラブアッセンブリー 「各委員長方針発表」 (1)

クラブ会員組織・強化委員会 岡田秀一

本年度、クラブ会員組織・強化委員会としましては、会員各々が、より深い親睦を深められるように、楽しく意義のある夜間例会を企画・設営して参りたいと考えています。参加して頂いた一人一人の存在を引き出せる様な例会作りを目指し、メンバー同志、より強固な人間関係を築く事が出来る様、努力します。

また、会員様と情報を収集しながら、会員増強に積極的に取り組んで参ります。

クラブ広報委員会

川田政雄

「ロータリーの友」を通じて、広く全国のクラブの情報を共有していきたいです。

また、1年間、委員長という立場でロータリークラブそのものの奥行きを実感していきたいと考えます。

青少年奉仕委員会

田村政一

ライラとは、Rotary Youth Leadership Awards の略で、日本語では青少年育成プログラムと訳されます。

青少年が楽しみながらリーダーシップを磨き、地域社会・国際社会での責任あるリーダーを育成します。

クラブ特別委員会

板橋 聖

当委員会は、常設の委員会とは異なり、特別なテーマを持った事業を運営する委員会です。

今年度は、大きく2つあり1つ目としては、第12回を迎える、『小学生バレーボール大会』があります。基本テーマとして、無限の可能性秘めた子供たちにエールを贈る形として、この大会を企画・実施して参ります。そして、スポーツを通して子供たちの健全育成に寄与致します。

2つ目として、新潟中央ロータリークラブ創立25周年記念式典に参加し、交流をはかります。